

令和 7 年 3 月 7 日

足立区立梅島第二小学校

校 長 竹花 正徳 様

足立区立梅島第二小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 鈴木 昌友

自己評価書（学校経営計画・自己評価書）

1 全般について

本校の教育目標である「ゆたかな子」「かんがえる子」「つよい子」を実現するために、「個の尊重と豊かな人間関係の育成」「基礎的・基本的な学力の定着・向上」「体力向上と健康・安全の推進」の3つを重点目標に掲げ、教職員が児童一人ひとりを大切にしながら熱心に取り組んでいることが伝わってきました。

今年度は創立周年の節目であり、例年よりも学校を訪れる機会が多くありました。タイムカプセルの開封・封入、記念式典、運動会、学校公開授業、展覧会などを通じて、児童の活躍する姿を直接見ることができました。その際、児童一人ひとりが精一杯取り組む様子に感動し、これも日頃の教職員の指導の賜物であると感じました。

「人権と生命を尊重し、豊かな人間関係を育成する」取り組みとして、学習前の朝のルーティーンづくりや、落ち着いた温かみのある学校環境の整備が行われていました。また、保護者との密な連携により、問題の未然防止や早期解決を図るとともに、対話的な学習を促進する学習集団づくりが進められていました。

「基礎的・基本的な学力の定着・向上」については、年度当初に実施した区の学力定着調査において、国語の通過率が82.1%、算数が78.5%と、2教科の平均で80%を超えましたが、昨年度より若干低下しました。これを受け、SP表を基に分析を行い、重点的に指導が必要な項目を絞り込んで補充学習を実施したと伺っています。また、ICTを適切に活用した授業の工夫・改善や、朝のパワーアップタイム、放課後の補充学習にも積極的に取り組んできたとのこと。さらに、AIドリルの活用も進められ、「学んだことを必要なときに使える」力の定着を目指した主体的な学習環境が整えられていることがわかりました。児童の学力向上が着実に進んでいることは、大変喜ばしいことです。

「体力向上と健康・安全の推進」については、運動の機会が減少しがちな時期には、短縄や長縄、持久走を学校全体で取り入れるなど、工夫が見られました。特に、河川敷で実

施された持久走記録会は、保護者や近隣幼稚園からも好評を得たと聞いています。また、年間を通じて外遊びを奨励し、休み時間には教職員が児童と一緒に校庭で遊ぶ光景も見られ、これは本校の良き伝統として継承されていると感じました。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

ICT の活用が進み、児童朝会のハイブリッド実施（ICT と対面の併用）、クラスルームの活用、AI ドリルの導入などが推進されました。また、H&S を活用することで、出欠確認、学校だよりの配信、アンケートの実施などが効率化されました。

一方で、スマートフォンや学習用タブレットの普及に伴い、誤った使用によるトラブルや人間関係の悪化といった課題も社会全体で浮き彫りになっています。ICT 機器の適切な活用は、これからの社会を生きる子どもたちにとって不可欠であり、学校だけでなく家庭においても、SNS のルールやマナーについて指導を行う必要があります。各ご家庭におかれましても、お子さまが安全かつ適切に ICT 機器を活用できるよう、責任を持ってご指導いただきたいと思います。

今後は、児童が興味を持ち、夢中になれる活動を増やし、一人ひとりが輝ける学校となることを期待しています。引き続き、家庭や地域との連携を密にし、「知・徳・体」のバランスが取れた児童の育成を推進していただきたいと思います。

なお、各教室や体育館にはエアコンが整備され、快適な学習環境が確保されています。また、運動会では児童席にテントを設置し、熱中症対策が講じられていました。しかし、WBGT（暑さ指数）が高い時期の校庭での活動やプール学習については、さらなる工夫や対策が求められる課題であると感じています。

3 その他

今年度は創立 80 周年を迎え、開かれた学校づくり協議会を中心とする実行委員会のもと、地域と学校が一体となり周年行事を計画・実行しました。記念式典では、6 年生が在校生代表として参加するなど、全校児童にとって思い出深い一年となったことを大変うれしく思います。

今後も、令和 7 年 4 月からの学校教育活動のさらなる発展を期待しております。